

令和8年度 美術 各単元（題材）における観点別の評価基準

3 学年

	指導計画及び指導内容	各観点における評価基準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・木彫 <ul style="list-style-type: none"> ・彫り方による表現の違い ・木彫レリーフの制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の特性を理解し、彫刻刀を正しく扱いながら美しい彫刻ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レリーフの表現を理解し、効果的な発想、構想を練りながら計画的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木彫の制作への興味を深め、根気強く取り組み、作品を完成させようとしている。 ・伝統的な作品の良さを理解し、積極艇に自身の制作に生かしている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の美術 <ul style="list-style-type: none"> ・仏像の美 ・日本絵画の鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などでとらえることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の美術作品のよさや美しさを感じ取り、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に美術作品や美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・西洋の絵画 <ul style="list-style-type: none"> ・西洋絵画の歴史 ・西洋絵画の鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色、光、空間や遠近法などの効果や印象など、西洋美術の特徴を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作者の心情や創造的な工夫などについて考え、よさや美しさを感じながら、見方や感じ方を高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各作品の良さや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図、創造的な工夫などを考え、見方や感じ方を深める鑑賞の活動に取り組んでいる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・空想画 <ul style="list-style-type: none"> ・印象派の絵画 ・見えていない色、複雑な色彩 ・絵の具の濃淡や積層 	<ul style="list-style-type: none"> ・着彩の効果を理解し、絵の具の濃淡や筆使いに工夫を凝らして丁寧に表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象のもつ色だけでなく自ら感じた色使いで表現するなど、表現の構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名画の鑑賞に意欲的で、自分の作品に愛着を持って積極的に絵を描くことができている。 ・印象派の絵画鑑賞を通して、自らの絵画表現に生かす工夫をしている。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・スクラッチによる細密表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作方法を理解し、素材を生かしたデザインを工夫しながら美しく仕上げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用途に合ったデザインを考え、自分で愛着のもてる作品作りに結び付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・金属工芸の良さ、美しさと工程の面白さを感じ取り、積極的に制作に取り組むことができる。 ・金属工芸の良さや美しい味わいを感じ取り、作品制作に生かすことができる。